



広報



2023年

つるい



740号

～地域とタンチョウが共生するむら～



the most beautiful
villages
in japan

鶴居村は
「日本で最も美しい村」連合に
加盟しています



鶴居村マスコットキャラクター
「つるぼー」

目次

村政執行方針	2～5
教育行政執行方針	6～7
第20回統一地方選挙のお知らせ	8～9
むらの話題	10～11
鶴居診療所所長の退任、就任のご挨拶	12
乳製品加工体験室が完成	13
お元気ですか、保健師です	14
消防署からのお知らせ	15
みんなの掲示板	16～17
鶴居村図書館だより	18
浜頓別町と鶴居村の子ども体験交流会について	19

3月8日、第1回鶴居村議会定例会が開かれ、大石村長が令和5年度の村政執行方針、村上教育長が教育行政執行方針を述べました。

それぞれの執行方針について概要をお知らせします、なお全文につきましては、村ホームページに掲載していますのでご覧ください。

令和5年度 村政執行方針



鶴居村長 大石 正行

持続可能な 地域社会の情勢に向けて

世界的なパンデミックとなった新型コロナウイルス感染症は、本年5月8日から、感染症法上の位置付けが、季節性インフルエンザと同様の「5類感染症」に移行する方針となりました。

振り返りますと、3年前の2月28日、北海道から新型コロナウイルス感染症対策として、全国初の「緊急事態宣言」が発せられました。

それから国民の生活は一変し、その感染力の強さやなすすべもなく重症化する未知なる脅威におびえながら、感染防止のための行動自粛を強いられる環境に置かれてき

ました。

本村においても、外出の抑制をはじめ、保育園や小中学校の休園休校、人々が集う施設の使用を制限するとともに、イベントや各種行事も自粛の措置を優先しなければならぬ事態に及んできました。

そして、その影響は、観光業や宿泊飲食業をはじめとした商工業の地域経済に大きな打撃を与え、さらに基幹産業である酪農畜産業は、ウクライナ情勢に伴う飼料の価格高騰などが重なり、経営環境が極めて危機的な状況に陥り、今なお、明るい兆しは見えません。

コロナ危機に対応すべく村としては、早期の集団ワクチン接種に努めたほか、「支え合おう・鶴居びと宣言」の趣旨に基づき、時々々の社会情勢に応じて、「鶴居びと応援券」や「燃料購入券」などの支援、さらに、牛乳消費を支える「輝のしずく(滴)プロジェクト牛乳引換券」の発行や国産粗飼料利用拡大緊急酪農対策などを実施しました。

また、今後の村の活性化につながる、民の力を取り入れる施策を進め、製造業や宿泊業の誘致のほか、「ふるさと納税」の取り組みを加速し、さらに美しい村づくりを深化させる地域や村民主導の組織醸成に取り組みました。

私の3期目の村政は、まさにコロナ禍における社会の中で、これまで経験したことのない舵取りでした。

しかし、新型コロナウイルス感染症が長く世界を覆い、人々の生活や経済を一変させた社会から、時を取り戻す新たなウイズコロナ、アフターコロナ社会に向かおうとしています。私は、コロナ禍で得た経験や教訓を踏まえ、今後における社会変化を視野に入れながら、職員とともに地域の未来を思い描き、鶴居村の持続可能な地域社会の醸成に向けて、次の2つの基本姿勢をもって、任期最終年を迎える令和5年度の村政執行に臨みたいと考えます。

「安心安全で心豊かな暮らし」

「これからの社会に相応しい

美しいむらづくり」

この2つの基本姿勢のもと、主要となる施

策の具体的内容について、つるい未来創造プラン（第5次鶴居村総合計画）基本構想の6つの体系に沿って述べさせていただきます。

地域特性を活かした活力あるむらづくり

【農業振興について】

- 自給飼料の生産性向上を図る道営草地整備事業や草地改良促進事業の実施
- 草地更新時やデントコーン作付け圃場への電牧設置への支援のため、自給飼料等生産性強化緊急対策事業を実施
- 農道の強化として、道営事業による久著呂地区、中幌呂地区の農道改良工事等の農業生産基盤整備を推進
- 良質な生乳の生産向上等を図るため、乳質改善奨励事業の実施
- 家畜ふん尿の処理や再生可能エネルギーの推進を図る観点から、釧路丹頂農業共同組合などと連携してバイオガス施設の稼働に向け、施設設備の充実等の取り組みの推進
- 増加傾向にあるエゾシカの捕獲体制強化のため、若い世代や意欲ある方の狩猟資格取得の奨励
- 知識経験者や猟友会員などとの連携を強め、カラスやその他の鳥獣被害対策の実施
- 酪農ヘルパー利用組合や乳牛検定組合などの運営支援の実施

● 地域集落主体の実行計画に基づき、条件不利な農地特性を改善させながら、多面的機能の確保や農業生産活動などの支援

● 酪楽館などの施設機能を十分に生かした製造に努めながら、新たな商品開発に向けた取り組みの推進

【林業の振興について】

- 森林整備計画等に基づく、植林や間伐・下刈りなどの施策を推進
- 森林環境譲与税等を活用し民有林の森林施策を支援
- 林業専用道の整備に取り組み、下久著呂宮島線林道のキラコタン岬入口に隣接する造林地内の路網整備を促進
- 昨今の利用状況の低迷や施設等の維持管理の課題などから村民の森キャンプ場を休止し、森林公園の機能を活かす利用の促進

【工業の振興について】

● 商工会の活動支援をはじめ、プレミアム商品券発行事業や意欲ある事業者の起業化などの支援

【観光の振興について】

● 山村活性化支援事業を活用し、新商品の開発、首都圏での物販販売や地域資源を活かした観光事業の推進

● 鶴居たんちようプラザの特産品販売の強化や魅力の発信に努め、鶴居どさんこ牧場や鶴居運動広場の施設機能の整備、鶴居産ぶどうによるワイン醸造の取り組み

ともに支え合い生き生きと暮らせるむらづくり

【健康づくりの推進について】

- 「健康つるい21」計画に基づく各種検診や脳ドック検査などの実施
- 特定保健指導による村民の疾病予防や、早期発見による健康の維持増進の取り組み

【地域医療の充実について】

- 指定管理者制度による村立鶴居診療所の診療や運営の充実、つるい養生邑病院との連携や歯科診療所の経営安定のための支援
- 釧路圏域における第2次医療圏の医療提供体制と連携し、村民の安心安全な医療の確保
- 国民健康保険事業において、財政調整基金を設置し、保険財政の健全且つ持続可能な運営に努め、保険税の平準化に向けた段階的な税率等の改正への取り組み

【子育て環境の充実について】

● 出産から保育、医療に至る一体的な支援と、乳幼児から高校生に対する医療費の無料化や出産・就学祝金の贈呈、産前・産後ケアや健診などを支援し、妊娠前から子育て期にわたる伴走型支援の充実

● 子どもセンターの複合的機能を生かし、保育園や支援施設の運営の充実

● 食を通じて子どもたちの成長を促し、子育て世代の負担を軽減する給食費用の完全無償化を実施

【地域福祉の充実について】

● 村民福祉センターなどを拠点とし、村民の生きがいづくりや交流機会の確保

● 社会福祉協議会や各種団体等と連携して、ノーマライゼーションの普及啓発や関係団体の育成、要保護世帯の早期把握や支援の実施

● 高齢者が安心して生活し、健康で生きがいを持って社会参加ができるよう、老人クラブや定期サロン開催の支援

【介護保険・障がい者福祉の充実について】

● 介護事業の推進や適正な保険給付、介護予防事業の充実を努め、次期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策

定への取り組み

●通所介護施設「ほのほのセンター」の大規模修繕工事の実施、利用者送迎用車両の更新

●ホームヘルプサービス事業所を村民福祉センターに移転し、福祉事業との包括的な連携を進め、サービス事業の充実を実施

●障がい者への必要な各種サービスの提供に努め、専門的療育の機会確保や発達支援の充実

●令和6年度を始期とする第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画の策定

安心・安全で快適に暮らせるむらづくり

【住生活環境の確保について】

●幌呂団地公営住宅、鶴居団地特定公営住宅等の長寿命化を実施

●村内に点在する空き家対策の指針となる空き家等対策計画に基づく対処方法の検討

●住宅地が不足する鶴居市街地域の新たな宅地確保に向けた取り組みの推進

●輝く住ま居る支援事業による持ち家への推進や移住体験住宅の利用促進、空き家バンクモデル助成事業などによる移住・定住を促進

【道路網の整備、交通機関の確保について】

●村道5路線の舗装補修工事、鶴居市街1条通の新設工事や、中雪裡下久著呂線の第二工区など3路線の改良工事を実施

●橋りょう施設の長寿命化計画に基づき、村道久著呂原野線宮城橋の補修工事や橋りょう点検の実施

●地域住民の生活環境や道路の安全性などを確保するため、私道の確保に向けた対策の検討

●国道や道路の路面補修などの道路管理や道河川の護岸改修、堆積土砂の除去、今後予定される道道釧路鶴居弟子屈線北斗坂の道路改良の早期着手の要請

●民間バスによる釧路・鶴居線などの路線維持や高校通学バスの運行の推進

●幌呂線のデマンドバスの地元利用者の視点に立った運行の実施

【防災及び交通安全対策について】

●地域防災計画や避難計画などの検証と見直しの実施、強靱化計画等に基づいた災害用備蓄品の計画的な購入や防災体制の充実

●長期停電時における行政機能の確保や避難所の運営のため、防災訓練の実施や体制の整備に取り組み、災害の規模や状況に応じた避難施設の適正な配

置等を検討

●釧路北部消防事務組合における出動体制の強化を図るため、3町村で共同運用する119番通報システムの機能拡張やデジタル無線設備の統合に向けた整備の実施

●消防隊員の安全や活動性を高めるため、防火衣の更新、下幌呂消防部詰所のサイレン塔に懸垂幕の掲揚装置を設置し、防災の啓発、村の情報などの発信

●救急医療用ヘリコプター（ドクターヘリ）の運航などと連携し、救命医療の充実

●釧路警察署や交通安全運動推進協議会等と連携し、村民全員の交通安全意識の高揚に努め、交通安全運動を推進

●自転車利用者や歩行者の安全確保のため、警察や関係団体等と連携し、自転車用ヘルメットの着用による安全運転の推進

【情報通信環境の充実について】

●光ファイバー高速通信網や公共施設に設置する公衆無線LANの適切な管理に努め、情報通信環境の充実

●行政情報や災害時の有効な情報伝達手段としてIP端末告知放送の運用に努め、スマートフォンへの情報配信による利用拡大や有効活用を取り組み

●マイナンバーカードの普及啓発に努め、全国のコンビニエンスストアから

住民票等を自動取得できるサービスを提供

豊かな自然と共生する美しいむらづくり

【自然環境の保全と景観形成に（こころ）】

●国によるタンチョウ生息地の分散化に向けた協議が進む中、村民総意のもとで「タンチョウ鶴居モデル」の考え方を基本にした、具体的な活動の推進

●地域全体の特性を生かした景観づくりに向け、村民と協働し景観計画の策定や景観条例を制定

●「日本で最も美しい村」連合や加盟村との連携を深め、村内各関係団体等により設立された美しい村づくり推進協議会と連携し、美しい村づくりを推進

【上水道・生活排水処理の対応（こころ）】

●安心安全な水道水の安定供給に努め、幌呂地区の水量の安定のため上幌呂浄水場に新たな配水池の整備を実施

●農業集落排水事業について、今後2か年で段階的な使用料金に改定するとともに、合併処理浄化槽の設置支援等による生活環境の充実

●水道、農業集落排水事業の公営企業

会計への移行に向け、事務の推進

●村民啓発による排出抑制や減量化、再資源化にごみ処理やリサイクルの取り組みの実施

●釧路広域連合による広域処理で対応するとともに、今年完成予定の釧路広域連合清掃工場の基幹的設備の更新に自分の負担

●釧路市など広域的な連携のもとで使用済ペットボトルを再生する水平リサイクルの取り組みを推進

●し尿処理世帯の減少に伴う今後の収集や利用負担の在り方について検討

豊かな人間性を育む むらづくり

【生涯学習の推進について】

●村民スポーツ・健康増進施設を拠点に、スポーツの振興、村民の健康や体力の増進、適切な施設の管理を実施

●文化芸術に触れる機会を創出し、自然体験や環境学習等の創意工夫した学習機会の確保

●村営軌道車両の展示保存や活用、複合的な機能を確保する施設整備の検討

【学校教育の推進について】

●総合教育会議などにおける情報共有や教育委員会等と連携を図りながら、村内小中学校の運営や施設管理を支援

●老朽化が進む鶴居中学校校舎や屋内体育館の長寿命化や施設周辺の整備充実を図る大規模改修工事を実施

●児童生徒の食を通じて成長を促すとともに、子育て世代への支援を目的に学校給食費用の完全無償化を実施

●教育環境の充実や学校の配置について、地域や教育委員会等と連携し、本の教育が地域や子どもたちに寄り添い、最適な教育環境の実現

みんなで歩む協働の むらづくり

【地域づくり・地域間交流の推進について】

●男女平等参画の視点から女性活動を支援し、活躍の場の確保に向けた議論の推進

●地域おこし協力隊員を配置し、地域や関係団体が抱える課題を把握しながら、(株)むらづくり鶴居等との連携によるむらづくりの推進

●都市部等からの人の流れやニーズを把握し、持続可能な地域活性化を目指すため、地域や関係団体との議論の推進

●幌呂農村環境改善センターに併設する乳製品等の加工体験室を供用開始し、チーズ等の製造を通じた村民の生きがいづくりや利用者同士の交流が図られるような利用の促進

●本村出身者等で組織する釧路鶴居会や本州在住鶴居会、札幌ふるさと鶴居会との交流などを通じて、活動を支援

【広報、広聴の取り組みについて】

●村政懇談会や各種団体、村民などからの意見を丁寧聴取し、村広報誌の充実や村ホームページ、SNSを活用した情報発信など、行政情報等の迅速な提供の実施

【行財政運営の推進について】

●国や北海道、釧路町村会等と十分な連携を図り、多様化した行政事務や村民要望等に対応するため、職員研修や組織体制の充実、関係機関や企業との連携による人事交流など、組織力の向上や職員の育成確保の実施

●総合センターの利用形態の多様化や、設備の老朽化等に対応する施設機能の改善に向けた調査を推進

●各公共施設等の管理は、光熱費や資材の高騰などに配慮して節電や節減に取り組み、効果的且つ効率的な施設管理を実施

●財政運営について、経営意識を高めた事務事業の執行や村税をはじめ、収入の的確な確保や既存事業の検証などを進め、財政基盤を維持、過疎対策事業債など、施策の実施に有利な財源を活用

●ふるさと納税については、地方税法に基づく適切な運用を図りながら、地元事業者等と連携して寄附者の善意に感謝する返礼品の充実や商品提供等に取り組み、納税額の拡大、ウェブサイトの拡充等によるPRや鶴居ファンの獲得に向けた取り組みの強化

結びに、新型コロナウイルス感染症と対峙した時間が3年を超え、さらに国内外の厳しい経済環境が加わって、村民の暮らしや地域は大きく疲弊しています。

しかし、私たちはこの難局を乗り越える決意と覚悟を持って、村民誰もが願う地域の平穏な日常を取り戻していかなければなりません。

私は、昨年の夏以降、イベントや催しなどに集う世代を超えた村民皆さんの微笑む姿や談笑する光景などを垣間見て、忘れかけていた地域間の交流に心が和む思いでした。

人と人とのふれあいは、互いの信頼を生み人生を豊かにするかけがえのないものであり、地域に連帯感と優しさを作るものです。

私に与えられた任期の最終年度を迎え、あらためて、先人、先達の時代から脈々と続く地域の日常の風景を大切にしながら、村民皆さんの心に寄り添い、次代を担う子どもたちの成長を促す鶴居村の郷土づくりに努力をしてまいります。

令和5年度 教育行政執行方針



鶴居村教育長 村上 明寛

『鶴居びと』の育成 ウィズコロナにおける 学びの質の向上

新型コロナウイルス感染症対策は、社会全体で見直しが進められているものの、依然として大きな課題であり、国際情勢の不安定さなどと相まって、私たちの社会は一段と先を見通すことが困難な状況にあります。また、脱炭素化やデジタル化といった大きな社会変革の動きも本格化しており、まさにVUCAの時代であると認識しています。

こうした中、子供たちが持続可能な地域の創り手としての資質・能力を身につけ、幸福な人生を歩むことができるようにするため、学校教育の果たす役割はこれまで以上に重要となっています。

また、人生100年時代といわれる中で、社会教育には、誰もが生涯にわ

たり必要な学習を行い、その成果を生かすことのできる生涯学習社会の実現に向けた取組が求められています。

こうした認識のもと、教育行政の執行に臨む基本姿勢を2点申し上げます。

1点目は、鶴居村総合計画に掲げる「鶴居村に誇りと愛着をもち、豊かな人間性を備えた『鶴居びと』を育てることを基本目標として、教育行政を推進してまいります。

2点目は、ウィズコロナにおける学びの質の向上です。これまでの経験を踏まえて感染症を乗り越え、子供たちの基礎学力を保障してその才能を十分に伸ばし、社会性や主体性を育むことができるよう、学校教育の質を高めることが重要であり、教育委員会として、そうした学校の取組を後押ししていきます。

社会で生きる力の育成

教科等の特質や児童生徒の実情を踏まえながら、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、学習指導要領のもとで「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を一層推進していきます。

豊かな心の育成

【主な施策】
●多様な価値観に接する中で自他の違いを認め合える人間力の育成を目指し、学校の教育活動全体を通して「豊かな心の育成」への取り組み

●学校が児童生徒一人ひとりの状況を的確に把握し、対応ができるよう、生徒指導・教育相談体制の充実
確かな学力の定着

【主な施策】

●「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた指導方法の工夫・改善を図り、児童生徒の学習の状況や学力の定着状況を把握・分析し、教科指導等の充実・改善

●「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現に向けて、教科指導等における、タブレットをはじめとしたICTの活用の推進、「学習者用デジタル教科書実証事業」に参加する形で、村内5校の英語の授業でデジタル教科書の使用

●道教委の事業を活用し、中学校の教師による小学校3校の高学年の理科と1校の高学年の体育を教科担任制で実施し、教科指導の専門性向上と小学校と中学校との円滑な接続を実現
健やかな体の育成

【主な施策】

●運動の楽しさや健康の保持、体力の向上など「健やかな体の育成」への取

り組み

●鶴居村教育研究所と連携して、体育の授業改善や体力向上の取組を推進
特別支援教育の充実

【主な施策】

●児童生徒の障がいに応じた特別支援学級の設置や必要な支援員の配置をはじめ、教材・教具の確保やICT環境の整備などを推進

●一人ひとりの児童生徒の特性や状況を詳細かつ的確に把握し、学校全体で指導していくための体制づくりの支援
●「特別支援学校等就学支援事業」により、村外の特別支援学校の小中学校部に在籍する児童生徒の学びを支援
読書活動の推進

【主な施策】

●図書館司書による本の選定や各図書館の蔵書の効果的・合理的な整備を進め、「読書活動の推進」への取り組み

●「学校図書館図書整備等5か年計画」に沿って、学校図書館の図書標準の達成、計画的な図書の更新などが図られるよう必要な取組の推進
主権者教育の充実

【主な施策】

●中学生模擬議会を実施し、主権者教育の充実への取り組み

●学校図書館に新聞を新たに複数紙配備し、児童生徒が日常的に新聞を読む機会を充実させ、児童生徒の社会への関心を高める取り組みを推進
教育環境の整備

【主な施策】

●老朽化が進む鶴居中学校の校舎の大規模改修工事を実施

●教職員住宅の整備を計画的に進め、村内各校に勤務する教職員の働く環境の向上を促進

●幌呂小学校と幌呂中学校の今後の学校の在り方の方向性を検討、及び対応

ふるさと・鶴居への誇りと愛着の醸成

鶴居村に誇りと愛着をもち、豊かな人間性を備えた「鶴居びと」を育てるため、地域資源を活用した学習の充実を図るとともに、地域の産業を理解し、望ましい勤労観や職業観の育成を図ることが重要です。

ふるさと教育の推進

【主な施策】

- 小学生用の補助教材「郷土読本つるい」を活用したふるさと学習の推進
- 学校給食で地場産物を積極的に活用し、地域理解を促進する「ふるさと給食」を継続実施
- 「キャリアパスポート」を学校段階を越えて活用することで、社会的・職業的自立に向けた能力の育成を実施

●タンチョウ保護や共生の在り方を示す「タンチョウ鶴居モデル」の実現に向け、国や北海道との連携のもと、支援の実施

●旧鶴居村営軌道について、貴重な文化遺産としての保存や活用の在り方について、引き続き検討

地域に立脚した学校づくりの推進

学校教育の質の向上を図るためには、教職員間、学校間、学校と地域の連携・協働を推進することが必要です。このため、「コミュニティスクール制度」や「学校支援地域本部事業」を効果的に推進し、地域全体で子供たちの成長を支えていく取組を進めます。

また、道教委の事業を活用して、令和3年度から鶴居中学校を中核校として村内5校が相互に連携して、学習指

導の充実や働き方改革の推進などの包括的な学校改善に取り組んでおり、引き続き、小中連携や学校間連携を推進します。

さらに、学校における働き方改革については、校務・教務の効率化を進めるため各校に導入した「校務支援システム」の本格運用やICT支援員による支援のほか、各校の事務職員がコーディネーターとなって、教員が本来担うべき業務に専念できるよう、学校全体の業務分担の見直しや効率化を進めます。加えて、学校事務の一層の効率化と学校間の連携を推進するため、学校事務の共同実施に向けた研究を進めます。

生きがいを創造する生涯学習の推進

人生100年時代を迎え、村民の皆様が生涯を通じて学び、その成果を生かせる環境をつくることが重要です。このため、村内関係団体と連携し、ウイズコロナにおける多様な学習機会の提供と住民同士のつながりを促進します。

女性団体・高齢者団体への支援

【主な施策】

- 鶴居村女性団体連絡協議会が各種事業を積極的に実施できるよう、支援・協力し、男女共同参画の視点を生かしつつ、人々のつながりを生み、女性の交流の機会の充実が図られるよう連携の実施
- ウイズコロナにおける講座の在り方を工夫するなどして、安心して学ぶことができるよう、寿大学の支援

青少年健全育成

【主な施策】

- 「わんぱくアドベンチャークラブ」

など、子供たちの自主性や創造性を大切にした体験活動の機会を提供できるよう取り組み

●スポーツや文化活動に優れた成績をあげた青少年への表彰事業の、継続実施

●「鶴居学びの広場」事業を通して、村民のサークル活動を支援、教育委員会主催の「生涯学習講座」により多様な学習機会を提供

●「ふるさと創生中学生派遣交流事業」として、「日本で最も美しい村」連合に加盟する赤井川村との交流を実施

●兵庫県市川町との交流として、市川町立鶴居小学校と本村鶴居小学校との間で、花の種の交換やオンラインでの授業交流の取り組みを継続

心に豊かさや潤いをもたらし文化活動の機会の確保・充実

本村の芸術文化活動の中心的な役割を担う鶴居村文化協会が文化祭をはじめとした多彩な活動を充実できるように協力・支援をしていきます。

また、情報館が本村の生涯学習の中心的役割を果たすため、図書館機能の充実に取り組み、「図書館祭り」などの機会を通して、文化・芸術の情報提供を進めるとともに、作品の展示などを通して、村民の身近な芸術鑑賞の機会を提供できるよう取り組みます。

心身の健康を育むスポーツ活動の機会の確保・充実

心身の健全な発達を促し、明るく活力ある地域社会を形成するうえで、スポーツの果たす役割は重要です。このため、村民が生涯にわたり、様

々な機会や場所において、自主的に自身の適性や健康状態に応じてスポーツを行うことができるよう取り組みます。

スポーツの普及

【主な施策】

●種目別のスポーツ教室を「鶴居アスリートクラブ」などの関係団体や指導者の協力を得ながら開催

●村民スポーツ・健康増進施設ファミスポ・アツプについて、指定管理者と連携して改善に努め、村民や来村者に安心して親しんでいただけるように取り組みの実施

部活動の地域移行

【主な施策】

子供たちのスポーツ活動や文化活動の機会を持続的に確保するため、学校部活動の地域移行を進める考えから、将来の地域クラブ活動への移行に向けた準備の推進

●鶴居中学校の陸上部と吹奏楽部に部活動指導員制度を導入し、専門的な技術指導に当たってもらうとともに、地域クラブ活動への移行に向けた課題の洗い出しなどの実施

●鶴居村におけるスポーツ活動や文化活動の機会を充実するため、専門性の高い指導者の確保を含め、本村における地域クラブ活動の在り方について検討

以上、令和5年度の教育行政の推進について、主要な施策を中心に具体の取組の概要について申し上げます。ふるさと・鶴居に誇りと愛着をもち人間性豊かな「鶴居びと」を育成し、地域づくりの一翼を担うことが教育委員会の使命ととらえ、教育委員会職員が一丸となってその使命を果たしてまいりますので、村民の皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

投票のできる人

北海道知事選挙 北海道議会議員選挙	平成17年4月10日までに生まれた方で、令和4年12月30日までに鶴居村に住民登録され、引き続き鶴居村にお住まいの方
鶴居村議会議員選挙	平成17年4月24日までに生まれた方で、令和4年1月17日までに鶴居村に住民登録され、引き続き鶴居村にお住まいの方

選挙当日に投票できない場合は、事前に投票できます（期日前投票）

投票日にお仕事や旅行、レジャーなどで投票できない場合は、期日前投票として次のとおり投票することができます。手続きは簡単です、投票入場券をお持ちください。

選挙の種類	期日前投票所 (不在者投票所)	投票期間	時 間
北海道知事選挙	鶴居村総合センター 第1研修室	3月24日（金）から 4月8日（土）まで	8時30分から 20時00分まで
北海道議会議員選挙		4月1日（土）から 4月8日（土）まで	
鶴居村議会議員選挙		4月19日（水）から 4月22日（土）まで	

※村内のいずれの投票区にお住まいの方でも、こちらで投票ができます。

鶴居村内に不在の方の投票の方法

選挙の直前にお引越しをされる方や、指定病院等に入院されている方などは、不在者投票制度を活用できる場合があります。この制度では、転出先の選挙管理委員会や入院等されている施設内で投票を行うことができます。

詳しくは、鶴居村選挙管理委員会事務局（TEL 64 - 2111）までお問い合わせください。

開票について

選挙の種類	場 所	開票日	時 間
北海道知事選挙 北海道議会議員選挙	鶴居村総合センター	4月9日（日）	21時00分から
鶴居村議会議員選挙	鶴居村総合センター	4月23日（日）	21時00分から

お問い合わせ

鶴居村選挙管理委員会事務局

〒085-1203

阿寒郡鶴居村鶴居西1丁目1番地 鶴居村役場総務課内

電 話 0154-64-2111

F A X 0154-64-2577





第20回統一地方選挙が行われます

4月9日（日）に北海道知事及び北海道議会議員選挙が、4月23日（日）に鶴居村議会議員選挙がそれぞれ行われます。告示日、投票日は、次のとおり予定されています。

統一地方選挙は、住み良い地域づくりのために身近な私たちの代表を決める選挙です。あなたの一票が未来を創ります。忘れずに投票に行きましょう

選挙の種類	告示日	投票日
北海道知事	3月23日（木）	4月9日（日）
北海道議会議員	3月31日（金）	
鶴居村議会議員	4月18日（火）	4月23日（日）

投票は、期日前投票・不在者投票を除き、決められた投票所で行うことになっています。告示日以降に郵送で配布される「投票所入場券」に、あなたの投票できる投票所名が記載されていますので、事前にお確かめください。

投票区域及び投票所等一覧表

投票区	投票所の施設名	投票区の対象地域	投票所の開閉時間
第1投票区	鶴居村総合センター	鶴居市街 中雪裡 中久著呂 下雪裡	午前7時00分から 午後8時00分まで
第2投票区	下幌呂コミュニティセンター	下幌呂	午前7時00分から 午後5時00分まで
第3投票区	幌呂農村環境改善センター	幌呂市街 中幌呂 中幌呂下 支幌呂 茂幌呂	
第4投票区	上幌呂コミュニティセンター	上幌呂 新幌呂	
第5投票区	茂雪裡コミュニティセンター	茂雪裡	
第6投票区	支雪裡コミュニティセンター	支雪裡	
第7投票区	下久著呂コミュニティセンター	下久著呂	

※ 今回の統一地方選挙から下雪裡地区（投票所 下雪裡コミュニティセンター）が第1投票区（投票所 鶴居村総合センター）に統合されていますので、下雪裡地区にお住まいの方は、ご注意ください。

なお、投票区変更に伴う経過措置として、下雪裡地区にお住まいの方で、やむを得ない事情により投票日当日に投票所に来ることができない方につきましては、送迎の対応をいたしますので、事前に鶴居村選挙管理委員会事務局（TEL 64 - 2111）まで連絡いただきますよう、お願いします。

村内小・中学校卒業式 (3月15日【中学校】、17日【小学校】)

村内の各小・中学校において卒業式が執り行われ、今年度の卒業式では小学生が18名、中学生が35名に卒業証書が手渡され、保護者や在校生、先生方に見守られる中新たな旅立ちを迎えました。

卒業生は緊張した面持ちの中、これまでの学校生活で経験してきたことを胸に、時に涙ぐむ様子も見せながらも背筋を伸ばし堂々とした姿を見せてくれました。

卒業生の皆さま、ご卒業おめでとうございます。



鶴居小学校



幌呂小学校



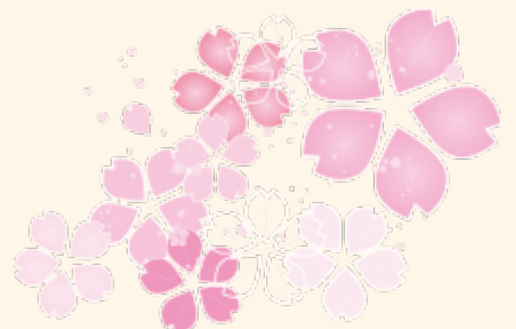
下幌呂小学校



鶴居中学校



幌呂中学校



卒業式での様子



鶴居小学校



幌呂小学校



下幌呂小学校



鶴居中学校



幌呂中学校

幌呂地区で防災訓練



幌呂農村環境改善センターで防災訓練が行われ、幌呂地区の村民を中心に参加者が集まり、改善センターに設置してある防災倉庫の見学や備蓄品の確認、災害発生時に避難所生活を送ることになった場合に備えて、防災資器材である段ボールベットや仕切りテントの組み立て方、災害用簡易トイレの使い方の説明を受けました。

また、非常用食料として、複数年保存の出来る米やパンの食料、水を紹介し、災害に備え自宅に備蓄しておくことの大切さなども伝えられました。

下幌呂下の句かるた同好会表敬訪問



下幌呂下の句かるた同好会の中学生の部2チーム（原野の飛躍、原野の剣）に所属している下幌呂小学校2名、鶴居中学校5名の合計7名が、2月19日に札幌市で開催される「第24回北海道子どもかるた大会」出場にあたり、役場を訪問し、大石村長からの激励の言葉、選手一人ひとりの大会に向けての意気込みを述べました。

7名は、1月22日に開催された令和4年度第17回釧路管内少年少女下の句かるた選手権大会で、中学生の部で1位（原野の飛躍）・2位（原野の剣）と優秀な成績を収めています。大会の結果は、3位（原野の飛躍）・4位（原野の剣）と全道から勝ち抜いた実力者が集う中でも勝利を信じて最後まで奮闘しました。



鶴居診療所

押味和夫所長

退任のご挨拶

短い間でしたが、お世話になりました。

昨年4月に村立鶴居診療所長を拝命しました。村の診療所ですので、外傷の処置、救命・救急処置、腰痛や関節痛などの整形外科的治療、子供の診療が必要ですし、24時間診療が望ましいのですが、そのいずれもが満足いく対応が難しく力不足を感じました。

代わりに来てくださるいい先生が見つかりましたので、この度バトンタッチすることとしました。短い間でしたが、大変お世話になりました。

別件です。この場を借りまして、皆様にお礼を。これまで2014年から毎年夏に鶴居リンパ腫ワークショップという研究会を鶴居村で続けてきましたが、ここ3年半はコロナのために開催できませんでした。ようやく今回再開できましたが、どうにも寄る年波には勝てず、今回が最終回になりました。最終回は私が世界で最も美しい冬と固く信じています道東の冬を見ていただこうと、初めて冬に開催しました。タンチョウ見学、阿寒湖のワカサギ釣り、オホーツク海の流氷見学です。幸い天気にも恵まれ、最高の会になりました。研究会では、ハーバード大学やイェール大学などの世界的に有名な教授の講演があり、しかも彼らのなかには2日目からのバスターに参加してくれる方もいました。最近の学会はコロナ禍のためにオンラインでの会が多く、若手医師のなかには久しぶりに直接議論が出来た、久しぶりに高名な人と親しく接することができた、と喜んでいる人が多くみられました。

これまでの夏の研究会では、カヌー、ラフティング、釣り、乗馬、ゴルフ、チーズ作りなどをしてきましたが、これらのアウトドア活動は村の皆さんの協力がないと実行できませんでした。改めてこの場を借りまして村の皆様にお礼を申し上げます。



鶴居診療所

八木啓一所長

就任のご挨拶

この度、鶴居診療所長を拝命いたしました八木啓一です。

大阪府出身ですが、医師となつてからは医局人事により全国各地で勤務してきました。この間の経歴の大部分は救急医療でした。若くて元気な頃はテレビで見るとような三次救急現場で活躍していました。救命救急センターを退職後は老人施設専門の訪問診療を経験し、最近では内科・脳外科・老年科を標榜するクリニック勤務を行っていました。ただいつかは自然豊かな環境で暮らしたいとの想いを募らせていたところに、かつて一緒に働いた養生邑病院長の浦先生からお声掛けいただきました。

今後は地元の方々健康管理に精一杯努めたいと考えています。どうぞよろしくお願い申し上げます。

八木啓一所長 経歴

鳥取大学医学部 卒業

大阪大学医学部附属病院特殊救急部 入局

阪和記念病院脳神経外科 勤務

愛知県厚生連・海南病院外科 勤務

セントルイス大学麻酔科(米国) 勤務

兵庫県立西宮病院救急医療センター医長

防衛医科大学校病院救急部(埼玉県所沢市)

講師

大阪府立泉州救命救急センター副所長

青梅市立総合病院救命救急センター長

鳥取大学医学部救急災害医学教授

・附属病院救命救急センター長

横浜市立みなと赤十字病院

救命救急センター長・院長補佐

つばさ総合診療所(埼玉県入間市)勤務

しんまち総合クリニック(東京都青梅市)

院長

「乳製品加工体験室」が完成しました！！

～「幌呂農村環境改善センター」併設施設～



昨年からの建設工事を進めてきた、乳製品加工体験室（幌呂農村環境改善センターと渡り廊下で併設）が完成し、4月1日から供用を開始します。

本施設は、チーズ等の乳製品の製作を通じた生きがいがづくりや利用者同士の交流の促進を目的として整備したものです。

チーズ等の製造を愛好する村民の皆さんを中心に、是非、気軽にご利用ください。

施設の利用について

○利用料金 1回当たり500円（減免規定適用後）

村内の個人及び団体が営利を目的とせず利用する場合は、減免規定が適用され、1回当たり500円で利用可能です。

なお、上記に当てはまらない場合は減免規定が適用されず、夏期1,060円、冬期1,600円（1時間当たり）の使用料が発生します。

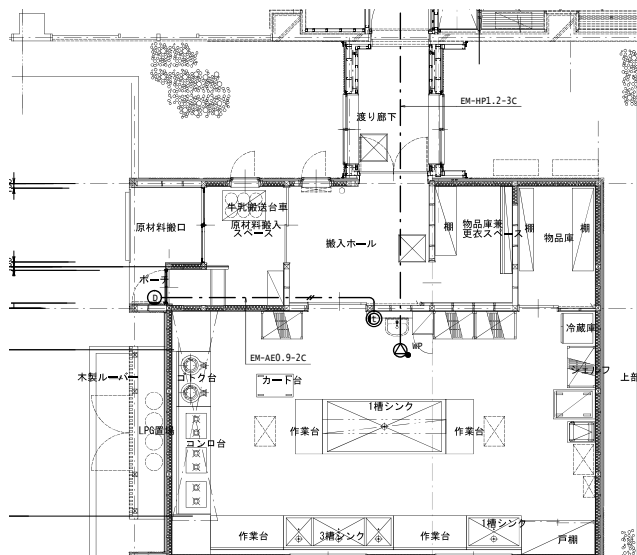
○利用申込 事前の申込が必要。

「幌呂農村環境改善センター使用申請書」を役場、幌呂郵便局、幌呂農村環境改善センターに配置していますので、ご記入のうえ役場住民生活課までご提出願います。

○注意事項

本施設にチーズ等の製造指導者は配置していません。

未経験の方が指導付きでの製造をご希望する場合は、村内チーズサークル所属の指導者をご紹介します。



施設の概要

1. 施設名 乳製品加工体験室
2. 住所 鶴居村幌呂東2丁目21番地
3. 施設面積 81.85㎡
4. 構造等 木造一部鉄骨造
乳製品加工体験室、原材料搬入スペース、搬入ホール、物品庫、更衣スペース、渡り廊下
5. 設備類
1槽シンク、3槽シンク、冷蔵庫、真空包装機、移動台、ガスコンロ、ステンレス棚、FF式暖房機、ガス給湯器、冷暖エアコン他



付近見取図（幌呂市街）



【問合せ先 役場住民生活課 0154-64-2113】

令和5年度「脳ドック受診者助成事業」募集を開始します！

村では、今年度も「脳ドック受診者助成事業」の募集を開始します。

脳血管疾患は日本人の死因の第4位で、多くの方がこの病気により亡くなられております。脳ドックは脳動脈瘤等、脳血管疾患の有無やリスクを調べることができ、必要な時は治療ができるきっかけとなります。ご希望の方は、下記の申込み資格等を確認のうえ、お申込みください。

■申込み資格

- ・鶴居村内に住所を有する方
- ・令和5年度内に40歳以上になる方
- ・現在、脳血管疾患で治療中でない方
- ・ペースメーカーや外科クリップ等体内に金属が入っていない方
- ・国民健康保険及び後期高齢者医療の被保険者については、春の集団健診で特定健康診査等を受診した方



※加入している健康保険組合において、脳ドック助成制度があり、助成対象となる方は除く。

※令和3年・令和4年度に脳ドック事業で助成を受けた方は対象外

■申し込み方法 保健福祉課健康推進係窓口でお申込み下さい。

(今年度は電話予約ではなく、窓口にて申請を受け付けします)

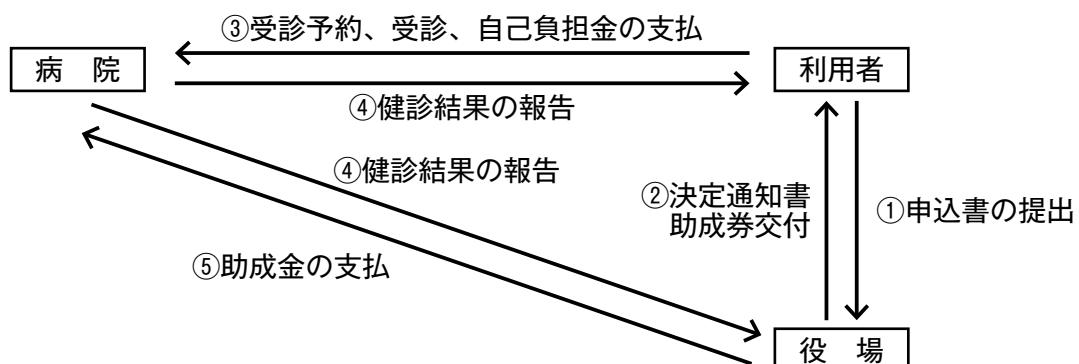
■受付期間

令和5年4月20日(木)・21日(金) (定員に達するまで)
午前8:30～午後5時15分

■定員 30名(国保20名・国保以外10名)・・・先着順です

《助成事業の内容》

- 助成額 20,000円(自己負担額は13,000円。実施機関の窓口でお支払下さい)
- 実施機関 釧路労災病院
- 健診内容 MRI(脳画像診断)・MRA(脳血管画像診断)・頸動脈エコー・血液検査
尿検査・心電図
- 申し込みから受診までの流れ



■お申込み・お問合せ 役場保健福祉課健康推進係(電話0154-64-2116)



令和5年 春の火災予防運動の実施について

消防では4月20日（木）から30日（日）まで、全道一斉に春の火災予防運動を実施します。これからの季節は空気が乾燥し、火災が発生しやすくなります。火災の発生を未然に防ぐため、次のことについて注意し火災予防に努めましょう。

住宅防火 いのちを守る 10のポイント 4つの習慣・6つの対策

《4つの習慣》

- 寝たばこは、絶対やめる。
- ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。
- コンセントは定期的に清掃し、不要なプラグは抜く。

《6つの対策》

- ストーブやガスコンロは安全装置の付いた機器を使用する。
- 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
- 寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防炎品を使用する。
- 火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する。
- お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。
- 防火防災訓練へ参加し、地域ぐるみの防火対策を行う。



全国統一防火標語
『お出かけは
マスク戸締め
火の用心』

※鶴居村でも、毎年のように屋外でのゴミ焼きから火災が発生しています。

農林業を営むための焼却以外の野焼きは法律で禁止されていますので、屋外でのゴミ焼き・野焼きはしないようにしましょう。

住宅用火災警報器の点検を実施しましょう。

平成23年から住宅用火災警報器の設置が義務化されています。

警報器の電池寿命は10年が目安で、電池切れが原因で警報音が鳴らないことがあります。

また、警報器本体についても経年劣化や設置場所の環境（ホコリが多い場所など）により正常に感知しないおそれがあります。万が一の際に作動しないことが無いように定期的に作動確認をしましょう。

※電池切れなど正常に作動しない警報器は、本体の交換をしてください。



鶴居村防火標語 『慣れたころ 油断してると 火の危険』

ご不明な点やご相談がありましたら鶴居消防署（☎64-2344）までご連絡ください。

みんなの掲示板

人口の動き (前月比)

※令和5年2月末時点	
総人口	2,483人 (-3)
男性	1,237人 (±0)
女性	1,246人 (-3)
うち外国人人口	40人 (±0)
世帯数	1,203世帯 (-4)

死亡事故ゼロの日

2,660日 (2月末時点)

議会情報

第1回鶴居村議会定例会

今定例会は3月8日から10日、13日から14日の会期5日間で開かれ、議案31件、発議案4件について審議が行われ、原案のとおり議決されました。

議案第5号 鶴居村個人情報保護法施行条例の制定について

議案第6号 鶴居村個人情報保護審査会条例の制定について

議案第7号 鶴の居る村寄附条例の一部を改正する条例の制定について

議案第8号 鶴の居る村基金条例の一部を改正する条例の制定について

議案第9号 鶴居村印鑑条例の一部を改正する条例の制定について

議案第10号 鶴居村手数料条例の一部を改正する条例の制定について

議案第11号 鶴居村国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

議案第12号 鶴居村国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

議案第13号 鶴居村国民健康保険財政調整基金条例の制定について

議案第14号 鶴居村幌呂農村環境改善センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第15号 鶴居運動広場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第16号 鶴居村道路占用料徴収条例の一部を改正する条例の制定について

議案第17号 鶴居村民民スポーツ・健康増進施設条例の一部を改正する条例の制定について

議案第18号 鶴居村民広場設置条例の一部を改正する条例の制定について

議案第19号 土地の取得について

議案第20号 村道路線の廃止について

議案第21号 村道路線の認定について

議案第22号 令和4年度鶴居村一般会計補正予算について

議案第23号 令和4年度各特別会計補正予算について

議案第29号 令和5年度鶴居村一般会計予算について

議案第30号 令和5年度鶴居村各特別会計予算について

議案第1号 鶴居村議会の個人情報保護に関する条例の制定について

議案第2号 食糧安全保障を担う持続可能な北海道酪農畜産の支援に関する意見書の提出について

議案第3号 带状疱疹ワクチンへの助成並びに定期接種化を求める意見書の提出について

議案第4号 知的障がいに対する国の対応拡充を求める意見書の提出について

問合せ先 鶴居村議会事務局
0154-6412511

採用・募集

令和6年度釧路管内町村職員採用資格試験(大学卒)の案内

●受付期間 令和5年4月3日(火)から同年5月19日(金)まで
(郵送での申し込みは5月19日付け消印まで受付)

●第1次試験日 令和5年7月9日(日)

●試験会場 釧路センチュリーキャッスルホテル

●受験資格 大卒 平成7年4月2日から平成14年4月1日までに生まれた方

●第1次試験合格発表 令和5年7月31日(月)

●その他
・受験の際にはマスクを着用。
・試験日程、試験場所が変更となる場合があります。

●申し込み・問合せ先
鶴居村役場総務課
0154-6412111
0154-4310649

●YOSAKOIソーラン祭り
YOSAKOIソーラン祭りをみてYOSAKOIソーラン大賞に選ばれてほしいチームを選出いただきます。

●特別な技術や知識は必要ありません。

●日時 6月10日(土)9時半から19時、11日(日)9時半から21時の中で3から4時間

●場所 札幌市中央区大通公園周辺

●活動内容 YOSAKOIソーラン祭りに関する演舞の審査

●定員 180人程度(抽選)

●申込 4月1日~28日 HP、FAX、郵送で申し込み下さい

●※応募用紙はHPから入手可

●問合せ先
YOSAKOIソーラン祭り実行委員会
0111-23114351
FAX 0111-23314351

イベント

ラムサール条約釧路会議30周年記念事業

「渡り鳥が結ぶオーストラリアとひがし北海道の姉妹湿地について考えよう」
釧路湿原(日)とハンター河口湿地(豪)の関係者から、渡り鳥と現在の双方の湿地保全の取組について聞く対面・オンラインのハイブリッド型シンポジウムです。

●日時 5月14日(日)13時半から15時半まで

●対象 小学生以上 ●定員 80人

●参加費 無料

●開催場所 釧路市立博物館 講堂(オンライン参加可能)

●申込先 URL: <https://form.run/@ka-shizenhogo-1676943448>

●申込期間 3月31日(金)~4月28日(金)

●問合せ先 釧路国際ウェットランドセンター
0154-3213110

人事異動

役場人事異動
《4月1日付》(退職者は3月31日付)
(括弧内は異動前の課名・職名)
〔総務課〕

▽課長補佐兼課総務係長 新木康司(同課長補佐兼総務係長兼情報推進係長)

▽課長補佐兼管財係長 池田圭志(同課長補佐兼管財係長兼地域防災係長)

▽地域防災係長兼情報推進係長 岩井亮達(産業振興課農政係主査兼林政係(併任) 農業委員(会事務局農地係))

【企画財政課】

▽課長補佐兼企画調整係長 小林弘昌(保健福祉課長補佐兼福祉係長)

▽財政係 渡邊優衣(住民生活課保険年金係兼窓口サービス係)

▽企画調整係兼むらづくり推進係 井上千尋(新規採用)

【住民生活課】

▽保険年金係兼窓口サービス係 清水郁菜(議会事務局庶務係(併任) 監査委員事務局書記)

【保健福祉課】

▽課長補佐兼地域包括支援係長 小北由紀子(同課長補佐兼健康推進係長)

▽課長補佐兼福祉係長 井上政志(企画財政課長補佐企画調整係長)

▽健康推進係長 中野さやか(同課健康推進係主任保健師)

▽介護保険係 徳刈文耶(新規採用)

【産業振興課】

▽農政係兼林政係(併任) 農業委員(会事務局農地係 堀尾郁希(企画財政課企画調整係))

【建設課】

▽課長 小北隆男(同課長兼管理係長)

▽管理係長 吾妻祐史(同課管理係主査)

【議会事務局】

▽庶務係(併任) 監査委員事務局書記 粟崎春華(企画財政課財政係)

【退職】

▽高橋昌也(建設課上下水道係主査)

【再任用】

▽建設課主任専門員 山本晴義

▽企画財政課主任専門員 川村公基

▽教育委員会管理課主任専門員 高橋昌也

【異動・昇格】(括弧内は異動前の課名・職名)

●消防本部所属

▽消防課消防係 吉田将也(鶴居消防署予防救急課予防広報係)

●鶴居消防署所属

▽警防管理課警防係長 今野智王(弟子屈消防署警防管理課警防係長)

▽予防救急課予防広報係長 菅原雄樹(警防管理課警防係長)

▽予防救急課予防広報係長 高平将臣(予防救急課予防広報係長)

▽予防救急課救急救助係主任兼予防広報係主任 山下悟史(予防救急課救急救助係主任)

▽消防士長 警防管理課総務係主任 加藤大輝(消防副士長 警防管理課総務係)

教職員等人事

【転任・退任】(括弧内は新任校)

【鶴居小学校】

▽田中敏行校長(釧路町立富原小学校)

▽相澤栄教諭(釧路町立別保小学校)

▽野田哲史教諭(白糠町立茶路小学校)

▽駒谷朋美期限付教諭(任期満了)

▽雨ヶ谷朱由子養護教諭(退職)

▽小原芹奈期限付教諭(鶴居村立鶴居小学校)

【幌呂中学校】

▽福田英明校長(厚岸町立真龍中学校)

▽長谷泰昌教諭(在籍のまま大学院派遣)

【着任】(括弧内は前任校)

【鶴居小学校】

▽笹川義孝校長(根室市立南舞学園)

▽阿部智宏教諭(釧路市立光陽小学校)

▽渡辺久美子教諭(鶴居村立下幌呂小学校)

▽織田歩教諭(標茶町立磯分内小学校)

▽後藤朝祐絵教諭(釧路町立富原小学校)

▽小原芹奈教諭(鶴居村立鶴居中学校)

▽三輪彩水養護教諭(厚岸町立太田中学校)

▽松谷裕之養護教諭(釧路市立美原小学校)

【下幌呂小学校】

▽佐藤敬喜教諭(厚岸町立真龍中学校)

【鶴居中学校】

▽河合香享教諭(釧路市立山花中学校)

▽野村恵美期限付教諭(白糠町立茶路小学校)

【幌呂中学校】

▽秋山豊校長(標茶町教育委員会指導室長)

本村で代表監査委員を務める灰塚玲子氏が令和5年2月21日に開催された第76回定期大会にて北海道町村等監査委員協議会会長に就任しましたのでお知らせします。



株式会社鶴居バイオガスエナジーの設立について

バイオガスプラントの管理や運営、家畜ふん尿の発酵過程で発生するバイオガスを活用した発電事業、将来的な電力の地産地消などを目的とした会社を村及び釧路丹頂農業協同組合の共同出資により設立しましたのでお知らせします。

- 設立日 令和5年2月14日
●資本金 400万円
●取締役 大石 正行 長尾 法明 折笠 文則
●監査役 鶴岡 智史 金森 重彰



お知らせ

鶴居文芸

凍原社3月句(俳句)

新茶飲む幸せ気分全開に
春めくやサングルひっかけお茶会へ 公子
茶の旨味手に持つ茶器の温さかな 春夢子
起き掛けの緑茶一杯春の恋 和子
友の意の茶道に込めてうららなり 紀代子
春めくやお洒落ひときわお茶の友 恒子

新刊案内

鶴居村図書館だより

館内利用について

新型コロナウイルス感染予防のため、図書館・ふるさと情報館をご利用の方は手洗いや消毒等のご協力をお願いいたします。また、発熱がある等、体調不良の方はご利用をお控えいただきますようお願いいたします。

- 開館時間……10:00～18:15
- 休館日……4月の休館日は4/25(火)です。
- 貸し出し……【本・雑誌・紙芝居】
2週間（1人10冊まで）
【CD・VTR・DVD】
2週間
（CD 3点、VTR 2点、DVD 1点まで）

紹介されている本は3/29(水)から利用できます。

HEAT VOICE ~Theme Song Selection IV~



ヒートボイス 演奏
釧路市を拠点に活動するフォークデュオ、ヒートボイスによる「テーマソング」を収録したアルバム。鶴居村応援ソング「カラフル」や、幌呂小学校開校100周年記念で制作された「幌呂の歌」など17曲を収録。

図解 知識ゼロからの畜産入門



田島淳史 監修
日本の畜産の実情と課題について、分かりやすく体系的にまとめた入門書。飼育・生産、流通、消費、食の安全、国際情勢、文化など、基礎知識から最新動向まで、畜産の全てを図と共に解説する。データを更新するなどした最新版。

明日も一日きみを見てる



角田光代 著
アクシデントは絶えないが、猫との暮らしには変わらない静けさがあって、それがたまらなく愛おしい。飼い猫トトとの暮らしを描いた、愛情あふれるエッセイ集。

神無島のウラ



あさのあつこ 著
12歳で離れた故郷の島へ戻ってきた榎屋深津。20年前の事件の記憶がよみがえり…。大人に傷つけられた子どもたちと、過去の傷を抱える若手教師の回復を描く。

かえでちゃんとひみつのノート



大久保雨咲 作
植田真 絵
新しい学校になじめない転校生のかえでちゃんは、ノートに落書きした「もじゃりん」に、学校での出来事を話しかけていました。そして、その「ひみつのノート」を持ち歩くようになって…。

わたしおねえちゃんになります



あいざわふみ 作
あかちゃんがやってきたら、何をしてあげたらいいのかな。うたちゃんは、いいことを思いついたらお手紙で教えて、と森の動物たちによびかけました。すると、楽しみがいっぱいつまったお手紙がうたちゃんのもとへ届いて…。

浜頓別町と鶴居村の子ども体験交流会



鶴居村教育委員会
タンチョウ自然専門員

音成邦仁

2月18日、19日にKODOMO湿地交流つるい委員会の主催で、道北の浜頓別町から来村した小学生8名と、本村の小学生7名と一緒に自然体験活動をしました。遠く離れた町に住む子ども同士が交流する機会はなかなかありませんので、お互いが大いに刺激を受けたようです。

今回のテーマはオオワシとタンチョウ。浜頓別町では普通に観察できるオオワシですが、つるいっ子にとってはそれほどなじみがありません。一方、タンチョウについてはまったく逆です。遠くの木にとまるオオワシを見つけると、つるいっ子の反応は「いたいた！」と興奮気味でしたが、浜頓別町の子どもは「あ、いたね」くらいの反応でした。逆に、タンチョウを最初に見つけるのは決まってつるいっ子。浜頓別町の子どもは「どこどこ？」と慌てて探していました。当たり前と思っていた存在が、他地域の人にとっては必ずしもそうではないことが感じられたと思います。もちろん、つるいっ子にもタンチョウに関する新発見がたくさんありました。「幼鳥の翼の羽は茶色っぽい」「興奮すると頭の赤が大きくなり、何かやらかす(けんかなど)」など、たくさんの気づきを話してくれました。改めて、じっくりと観察した成果でしょう。

実は、昨年秋に浜頓別町で発信器を付けたオオワシが道東に移動してきており、道北地方で足環をつけたタンチョウが鶴見台に飛来しています。そこで、今回は発信器や足環の装着によりわかったことも説明しました。発信器のおかげで思わぬ場所にオオワシの良い餌場があるとわかったこと、足環のおかげで道北地方で子育てをするタンチョウが主に鶴居村で越冬していることなど、たくさんのがわかれると実感できたと思います。

自然体験活動に加えて、両町村の子どもが協力してゲームやクイズに挑戦する時間を作ったこともあり、子どもたちはわずか2日間(実質はほぼ1日)ながら、すっかり打ち解けたようでした。つるいっ子からは「今度は浜頓別町に行きたい」といった声も聞かれました。他町村との交流を兼ねた自然体験活動の真価を目の当たりにし、同行した大人も大満足の2日間でした。





4月のイベント



日時：4月6日（木）10：00～
鶴居保育園入園式
場所：鶴居保育園

日時：4月9日（日）7：00～
北海道知事及び北海道議会議員選挙期日
場所：村内投票場・開票所

日時：4月11日（火）
集団健診・がん検診
場所：幌呂農村環境改善センター

日時：4月11日（火）10：00～
鶴居村議会議員選挙立候補届出書類事前審査
場所：役場第一・二会議室

日時：4月12日（水）
集団健診・がん検診
場所：幌呂農村環境改善センター

日時：4月13日（木）
集団健診・がん検診
場所：鶴居村総合センター

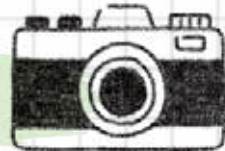
日時：4月14日（金）
集団健診・がん検診
場所：鶴居村総合センター

日時：4月15日（土）
集団健診・がん検診
場所：鶴居村総合センター

日時：4月18日（火）
鶴居村議員選挙告示日
場所：役場第一・二会議室

日時：4月23日（日）
村議選挙期日

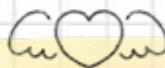
今月号の表紙



鶴居小学校の卒業式が終わり、在校生に見送られながら学校にお別れをする際の一コマです。

在校生や先生方からは大きな拍手が送られ、卒業生はハイタッチや握手で応えました。

当日は青空が広がり鶴居村の大自然も卒業をお祝いしていました。



寄付

ふるさと納税（2月分）

313件 3,661,000円



地域おこし協力隊の活動はこちらから



インスタグラム



ツイッター



フェイスブック



ユーチューブ

編集後記



4月に入り、新たな年度の幕開けですね。4月から新生活を始めた方は新しい環境にドキドキしているのではないのでしょうか。とはいえ、4月1日、2日は土日なのでちょっと気持ちが空回りしてしまいますね。今月号に掲載した各小中学校の卒業式にお邪魔させていただき、栄えある門出をカメラにおさめることが出来たのと同じように思わずもらい泣きしてしまいそうな場面もあり、「別れ」を象徴する卒業式ですが同時に「旅立ち」であることを改めて実感しました。(F)

